

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社あつぷる	代表者	山下 裕史	法人・事業所の特徴	利用者様とご家族の状況に合わせ、急な、宿泊希望、時間延長、早朝受け入れ等柔軟な対応を行っています。ご家族の状況に沿った利用ができる事によりご利用者様が安心して自宅での生活が送れるよう支援しております。手作りの食事を提供することで、ご利用者様に食事を楽しんでもらえるように取り組んでおります。パワーリハビリの器械を設置、個々に合わせた運動をして頂く事ができます。
事業所名	あつぷる多機能広畑	管理者	竹本 峻也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	年に一度の内部研修にて職員全員に振り替える話し合いと、自身が取り組む行動計画を見直す時間を作り、運営推進会議で報告する	利用者家族さまへの事業理念の共有が不十分なまま終わってしまった。	説明への理解が難しい時がありました。	職員一人一人に目標を掲げてもらい、定例ミーティングの中で職員全員が、自身が取り組む行動を見直す時間を作っていく
B. 事業所のしつらえ・環境	新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、認知症サロンができないか検討、地域の方や利用者にとって利用しやすい環境作りを進めていく。	認知症サロンの開催はできていない。	いろいろ相談したり、声をかけたらすぐに対応してもらえるから入りやすい。	地域包括との交流を密にして地域活動に貢献する。
C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナウイルス感染症による地域の動向に配慮しながら、今できる地域との関わりと新型コロナウイルス感染症が終息していくことも踏まえた年間行事をたて実施していく。	施設内イベントの年間計画作成・実施を行った。	ボランティアの受け入れを再開されたんですね。	施設のイベントに地域ボランティアや外部資源をうまく活用し開催頻度を現状月1~2回の開催から1.5倍に増やす
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外出支援を検討しつつ、今行っているテイクアウトや移動販売の取組みを進めていく。個別の施行調査を行いレクリエーションや食事の献立など利用者の主体性のある暮らしができるよう支援していく	現在は外出イベントに注力しているが、テイクアウトや移動販売のとりくみについて十分な活動は出来ていない。	移動販売などは自己決定の面でもいいですよ	テイクアウトや移動販売の取組みを開催する
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議がマンネリ化している為、運営推進会議の内容を検討しより多くの意見がもらえるよう議題を検討していく。	新規利用のご家族様へ参加の要請を行うようにしている。	いつも同じ家族様が来られていますね	現状の報告に追加して、事故報告・ヒヤリハットなどの共有も行うようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練の実施と合わせて、自然災害や感染症によるBCP計画の作成と共に計画に沿った訓練の実施、検証をしていく。	定期的に行っている。避難場所の共有や避難にかかる時間・緊急連絡網の活用、感染予防の防護服着用の注意点など実際に確認を行いました。	私たちも参加(消防訓練などに)に参加した方がいいですか？	運営推進会議で消防訓練の開催を事前にお知らせし参加していただく。

法人名	株式会社あつぷる
事業所名	あつぷる多機能広畑

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	人	10人

前回の改善計画	利用開始初期の方に対して定着しているミーティングの内容にマーカーを入れるとともに、申し送りノートとミーティングの記録、個別のカルテの様式を検討し、記録の活用と情報の流れについて整理していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報共有の実践を継続して行えているが、突発の利用などもあり事前情報が少ない中対応する事もある為ご本人の性格、ご家族、介護者の不安を把握しきれていない部分もある

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	1		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	1		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		8	1	1	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	2		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティング、情報提供書、アプリ、さらに管理者や家族との直接対話など、多様な手段を用いて情報共有を実践しています。利用者の基本的な生活歴、本人の「好き嫌い」といった詳細なニーズ、家族の意向までを事前に把握。これらの情報を職員間で共有し、日々の声掛けや気遣いといった具体的なケアに活かすことを意識しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
関わる時間が不足し、家族や介護者の不安を把握しきれていない。また、利用者本人の性格を掴むことも、事前情報が少ないために難航している。新規利用者の情報が直前で不十分なことや、業務の優先順位によって記録や引き継ぎが後回しになり、情報に抜け漏れが生じて対応に戸惑うケースもある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規利用者の初期支援における情報共有の漏れを防ぐため、2点の改善を行う。まず、朝の申し送り内容を14時のミーティングでも再共有し、全スタッフへの確実な伝達を徹底する。次に、利用開始が直前の場合でも、食事や入浴など最低限必要な情報をまとめた「サマリーシート」を必ず作成し、担当者が一目で把握できる体制を整える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	6人	人	10人

前回の改善計画	日々の触れ合いの中で本人たちの目標 (～したい) の解像度を上げる。その目標に対して日々の記録や個々の援助を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングや申し送りで利用者の希望や要望を共有し、チームとして対応を心がけている一方で、次の対応に行かせていない (あまりできていない) と考えるスタッフが半数に上っている。本人の最終目標や『～したい』という希望を深く把握できていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	6		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	7	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	6		10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	3	5		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 多機能計画書、介護計画書に基づきゴールを理解し、本人との関わりを実践している。ミーティングや申し送りで利用者の希望や要望を共有し、対応を心がける。また、活動を通して得意なことを把握したり、本人の希望に沿って、できることは自分でやらせてもらう支援も行っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の最終目標や「～したい」という希望を深く把握できていない。多忙さや支援のマンネリ化により、スタッフの理解不足や「気づく視点」が欠如しています。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 全利用者のケアプランと目標をカルテで共有し、閲覧しやすいようにする。ケアマネジャーだけでなく、日々の関わりで利用者を理解する現場スタッフが、目標設定や計画作成により深く関わる体制を作る
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	人	人	人

前回の改善計画
 新規利用・短期利用の方に対し、以前の暮らしなどのパーソナル情報の把握ができていない部分があった。利用前の聞き取りや個々に関わる時間を増やし、申し送り・ミーティングにて情報を共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 日々の情報共有は行えているが個々に関わる時間を増やせていない。
 趣味を把握しても時間やスキル不足で対応できなかつたりする実態も明らかになりました

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			10		10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	2		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	1		10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	1		10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ミーティングやアプリ、申し送りを活用した情報共有が機能しています。日常の体調や様子の変化、本人の気持ち、ケアマネからの情報などを都度共有し、全職員に伝達できています。これにより、食事形態の変更や排便調整、本人の依頼への即時対応など、状況に応じた基礎的ケアや個別対応に活かしています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご利用者の「以前の暮らし方」などパーソナル情報の把握が不十分です。訪問介護の未実施や家族と会う機会が極めて少なく、情報を得難い状況があります。また、多忙でエピソードを書き残せなかつたり、情報を次につなげる形で共有できなかつたりする課題も存在します。趣味を把握しても時間やスキル不足で対応できなかつたりする実態も明らかになりました

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 新規利用者には「サマリーシート」を作成し、14時ミーティングでも情報を再共有する。既存利用者については、スタッフが聞き取ったパーソナル情報をミーティングで共有し、記録することを徹底する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	6人	2人	10人

前回の改善計画
事業所を利用されていない時間、どのように過ごしているか聞き取り情報を共有していく。 利用者がこれからも事業所を利用されながら、自宅で生活していけるよう送迎時などに地域の方と挨拶を行い、利用者や地域での困りごとがないか把握していく
前回の改善計画に対する取組み結果
送迎時などを活用して地域住民の方たちとも挨拶を行っていますが、送迎を担当しないスタッフは外部との関わりが少ない状況にあります。地域資源の活用と言ったところで、地域資源について理解の浅いスタッフもいる事が分かりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	6	2	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		1	5	4	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		1	6	3	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			3	7	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	コミュニケーションが取れる本人には積極的に声かけし、傾聴できています。送迎時などを活用し、家族からも家での様子や過ごし方を聞き取り、共有しています。また、ケアマネからの情報提供書や必要に応じた聞き取りを通じて、本人の生活スタイルを理解し、情報共有に努めています。地域住民とも積極的に挨拶を交わしています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	送迎を担当できないスタッフは地域住民と接する機会がなく、家族との関わりも少ない。民生委員や地域の資源に関する情報がなく、本人のこれまでの生活スタイルや人間関係、家庭での様子、地域の困りごとなどを具体的に把握できていない状況があります。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	事業所を利用されていない時間、どのように過ごしているか聞き取り情報を共有していく。 利用者がこれからも事業所を利用されながら、自宅で生活していけるよう送迎時などに地域の方と挨拶を行い、利用者や地域での困りごとがないか把握していく。地域のイベントに積極的に参加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	7人	人	人	10人

前回の改善計画	朝礼で前日の申し送りをを行い、利用者の様子の変化をミーティングに議題として挙げ気づきを促していく。通いや泊まり、訪問などのサービスを柔軟に支援できるように取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	急な泊まりや体調変化にも適切に対応できていた。地域の資源を活用した支援が十分には出来ていなかった。他事業所との連携も乏しく地域との関わりも持っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?			6	4	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	1		10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること アプリやミーティング、申し送りを活用し、利用者の日々の様子や体調の変化、ニーズをこまめに情報共有できています。これにより、急な泊まりや体調変化にも適切に対応するなど、状況に応じた支援が実現できています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の資源を活用した支援ができていません。多くの職員が「どんな資源があるか知らない」状態であり、知識を学ぶ機会や情報を共有する仕組みが不足しています。他事業所との連携も乏しく、地域との関わりが持っていないことが原因です。また、家族との情報共有が行き違いになり抜け漏れが生じたことも。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域資源の活用の一環として、喫茶店の利用や買い物への外出イベントの頻度を増やし充実させる。地域のイベントへの参加を積極的に行っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

6. 連携・協働

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	5人	4人	10人

前回の改善計画
運営推進会議を開催した内容や結果の議事録を事業所内で閲覧できるようにする。 参加されていない利用者家族に対しても、個人情報を除いた運営推進会議の内容を定期的にお便りと共に発信していく
前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議を開催した内容や結果の議事録を事業所内で閲覧・共有できていた。 参加されていない利用者家族に対しても、個人情報を除いた運営推進会議の内容を定期的にお便りと共に発信していくことにしていたができていない事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		1	3	6	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			2	8	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	1	8	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	1	7	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	会議内容は議事録で共有し、支援の方向性を統一できています。また、施設見学会や夏まつり等のイベントを実施し、地域住民や家族が来訪・参加する機会を設けています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	ご家族からの意見や感想を十分に集められず、フィードバックの場が固定化している。また、自治体や地域包括支援センター、他事業所、町内会との関わりが希薄です。会議には管理者やケアマネのみが参加するものと認識されており、現場スタッフが地域の機関と関わる機会がありませんでした。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	参加されていない利用者家族に対しても、個人情報を除いた運営推進会議の内容を定期的にお便りと共に発信していく。参加していただいている家族様が固定化してしまっているので、他のご家族様へも参加を呼びかけていく。現場スタッフも交代で運営推進会議に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	10人	人	10人

前回の改善計画	法人で実施される、家族に向けた年一回の満足度アンケートの結果を職員へ周知するとともに、日々の申し送りの中で、運営に関する意見が述べやすい環境を作っていく。ボランティアへの依頼を増やしていくこととし、地域との関わりを増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人で実施される、家族に向けた年一回の満足度アンケートの結果を職員へ周知することになっていたが、ファイルの保管場所を把握できていないスタッフが多かった。ボランティアへの依頼を増やそうとしていましたが、以前付き合いのあったボランティアさんが活動をおやめになられたりして結果として依頼する事も少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	4	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	1		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	3	5	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		1	1	8	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員間では、ミーティングや申し送りなどで意見を述べやすい環境があり、運営にも反映されています。また、利用者や家族からの希望・意見・苦情は、日常の聴取を通じて把握し、必ず情報共有した上で即時対応・反映する体制が整っています。担当者によるボランティアの調整も行われています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域住民との関わりが希薄で、意見を聞く機会が少なかった。ボランティア依頼をすることも少ない実態があります。また、アンケート結果の共有が不十分で、家族の満足度も把握できておらず、フィードバックを具体的な支援に活かしきれいでいません。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
アンケート結果を必ずスタッフ全員に共有するようにしていく。ボランティアの受け入れや外出・外食イベントを増やしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	2人	10人

前回の改善計画
法人内での内部研修の機会や外部研修の機会を多く持てるようにしていくとともに、サービスの質の向上のために、法人グループの業務マニュアルを年一回、研修の中で確認する取り組みを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
業務マニュアルがデータ化されPC内にあり、研修の中以外でスタッフが閲覧しにくい状態になっている。外部研修への参加機会も少なく、研修で学んだ内容を他スタッフへの共有も十分にできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		8		2	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	6	10
③	地域連絡会に参加していますか			1	9	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8		2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	社内や事業所内の定例研修には参加できており、レポート提出なども実施されています。研修内容を日常業務に活かす意識を持ち、マニュアルの定期確認や基本動作の振り返りも行われています。また、ヒヤリハットの作成や情報共有を通じた発生防止の取り組み、全員参加の定例ミーティングも実施されています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	スキルアップ研修や外部研修、地域連絡会への参加が困難な状況です。情報や時間の不足、シフトや人員体制の余裕のなさから、現場スタッフが参加できていません。結果、全職員での学びが深まらず、改善に向けた意見交換まで至っていません。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	外部研修 (Web研修なども含む) への参加を増やす。 研修に参加後は、学んだ内容を他のスタッフに共有する場を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 11月 6日 (13:30 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 竹本・松村・中野・黒田・新井・福本・前川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	3人	10人

前回の改善計画	成年後見制度についての研修会を行う。 利用者の支援にあたる際には、丁寧な言葉遣いを心掛け一つひとつのケアに対し配慮を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度について定例研修を行っているが、スタッフ全体への十分な理解に繋がっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2			10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	4	6			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	1	8	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	4			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
食事、入浴、移動など個別のケアにおいて、本人の状況や希望を確認し、丁寧な言葉づかいと配慮のある説明を心がけています。虐待や身体拘束の防止は、定例研修やミーティングを通じて全スタッフで確認し行われていません。また、オムツ交換時や会話の際に居室の扉を閉めるなど、プライバシー保護にも配慮しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
忙しい時間帯や複数対応が重なると、十分な声かけや細やかな配慮が難しくなることがあります。成年後見制度については、研修機会が少なく知識も不足しており、ケアマネ任せになってしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度に関する外部研修へ参加する。 利用者の支援にあたる際には、丁寧な言葉遣いを心掛け一つひとつのケアに対し配慮を行っていく。	